



# だっこするよ

## 令和4年1月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

### 幼児組 年齢別保育から異年齢保育へ

謹賀新年 初春のお慶びを申し上げます。「おおきくなったねの会」を終えて、園はまたひとつギュッと繋がってきました。愛着や安心が生まれていくのですね。

さて、開園当時からやりたいと考えていたことですが、令和5年度から、幼児組は年齢別保育を異年齢保育へと変えたいと思います。3歳児7名、4歳児7名、5歳児7名がひとつのクラス=家族となり生活を共にします。異年齢で遊び合い、学び合い、助け合い、関わり合って生活する保育です。勿論、活動によっては、年齢別にして年長、年中、年少と横割りでの活動もあります。

私は、以前の園でも異年齢保育を行っていました。それは、子どもたちにメリットしかないからです。年少児が、泣いている年長児にさっとティッシュを持って行ってあげたり、年長児が困っている年中児に手を差し出したりと年齢の上下でなく一人の人として豊かな関係が子どもたちの中に生まれるのです。大人の指示で動くのではなく、自分でそうしたくなる…子どもの崇高な精神にふれすごいと感じました。子どもたちは、生活しながら感覚で相手を理解していくのだと感じました。

赤羽台は、今年で開園して7年目となります。お陰様で自然遊びを楽しみ、地域を歩き、子どもたちは、自分で考え、選択をしながら主体的に生きています。今だと感じました。社会は常に異年齢で構成されており、縦割りの姉弟社会で生きる経験は少子化の今、貴重です。人は、家族や地域社会の中で、人々とふれ合い人間関係を知らず知らず真似て身につけていきます。自分の力以上のことにチャレンジしたり、小さな子に分かり易いように言葉で説明してあげたりと育つ力は無限です。日本の保育や教育は、年齢別が当たり前でした。個々の違いを平均化することが目的であり、大人からの指示で同じことが出来ないと「遅れている」「おかしい」と感じてしまう…個性「違い」は、自分の財産、価値なんだと伝えたいです。「違って当たり前だよ。いいんだよ」と本人自身が実感して生きることができたら自己肯定感、自己有能感も自然に育つでしょう。どの子も自分の意思、表現、嗜好があります。違いこそ私であり、宝ですね。違いを尊重しあえたら未来は、もっと平和になると思います。

厚生労働省の保育所保育指針にある保育の目標に「保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。保育所の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」と記載されています。わらべうた遊びをすると皆、つながる力を持っていて、友だちや大人に心を開いていると感じます。自分と違う存在を面白いと感じているのです。とても公平で対等です。

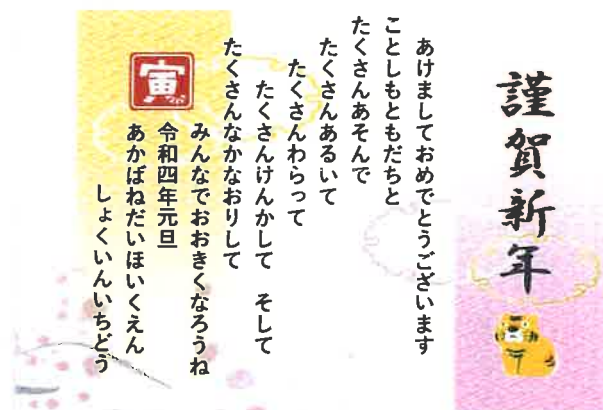
幼児教育は、小学校の先取りや入学準備時間ではありません。それぞれの自己を発揮して仲間と協働できるしなやかな人を一緒に育てていきましょう。

2月の懇談会でも異年齢保育についてお伝えします。説明会も開く予定です。子どもたちの未来のこと、育てて欲しい力など保護者の皆さんと一緒に考えながら語り合っていきたいです。今年もどうぞ宜しくお願いします。

写真は赤羽自然観察公園、落ち葉のベッドに飛び込む、はと組さんです。



写真は「火起こしからの私たちのSDGs 4・5歳児 焼き手パーティー2021」です。



謹賀新年



あけましておめでとうございませ  
ことしももだちと  
たくさんあそんで  
たくさんあるいて  
たくさんわらって  
たくさんけんかして そして  
たくさんなかおりにして  
みんなでおおきなうね

寅  
令和四年元旦  
あかばねだいほいくえん  
しよくいんいちどう